

Wisdom and Compassion: THE SACRED ART OF TIBET

# 天空の秘宝 チベット密教美術展

1997年7月1日(火)→8月31日(日) 千葉市美術館 Chiba City Museum of Art

休館日=月曜日(ただし7月21日は開館、翌22日は休館) 開館時間=午前10時→午後6時(金曜日は午後8時まで) 入館受付は30分前まで

主催=千葉市美術館/朝日新聞社 企画協力=ニューヨーク・チベットハウス 協力=日本航空/凸版印刷

入場料=一般1,000(800)円/大・高生700(560)円/中・小生300(240)円 \* ( )内は前売りおよび30名以上の団体料金

展覧会のお問い合わせ=ハローダイヤル 043-227-8600/千葉市美術館 千葉市中央区中央3-10-8 Tel.043-221-2311



絵画:チベット密教美術展(1997年7月1日-8月31日) 千葉市美術館

# 天空の秘宝 チベット密教美術展



〈毘沙門天〉1400年頃あるいはそれ以前、個人蔵



〈十一面八臂観音〉1227年以前、エルミタージュ美術館



〈金剛手〉1700年頃、ストックホルム国立民族学博物館

チベットは、土地のほとんどが標高4500メートルを越すという、世界で最も高いところに位置する広大な地域です。こうした厳しくも豊かで清浄なる自然に抱かれ、7世紀にインドから伝えられた仏教は成熟を深めます。教理が体系化されたチベット密教は、インドで仏教が衰退したのちも、周辺地域へ広く伝えられました。チベット密教において美術は、深遠な奥義を目に見えるかたちにしたものであり、人々を仏の教えに導くための重要な手段(方便)でした。「智恵と慈悲」を得るための「聖なる美術 "Sacred Art"」は、チベット世界のあらゆるところに浸透しています。

密教の信仰が今日でも生きたかたちで残っているのは日本とチベットだけです。インドの後期密教の要素も取り入れているチベット密教と、中国から伝えられ展開した日本のそれとは、尊像や表現が異なる面も数多くあり、その相違もまた興味深いものです。しかし日本で本格的にチベット美術の全貌が紹介されたことは、これまでほとんどありませんでした。残された美術品は世界中に散在しており、体系的に見ることが難しかったのです。この展覧会は、ロバート・サーマン教授(コロンビア大学)、マリリン・リー教授(スミス・カレッジ)の監修と、ニューヨーク・チベットハウスの特別な協力のもと実現したもので、世界の主要美術館、博物館や個人の所蔵家の所蔵作品の中から選ばれた180余点の優品によって、チベット密教美術の精髓を紹介するものです。ドイツのボン、スペインのバルセロナでの展覧の後を受けて、日本に巡回した国際展であり、千葉でその最後を締めくくります。

展覧会は、「チベットの聖史」「チベット仏教の宗派」「チベットの理想世界」の三部に構成されています。神秘のヴェールに包まれていた“天空の秘宝”の数々を、十分にご堪能いただければ幸いです。

◎講演会:7月5日(土)午後2時より

場所:千葉市美術館11階講堂

講師:マリリン・リー(スミス・カレッジ教授/本展監修者)

演題:「チベットの仏教美術:Buddhist Art of Tibet」

\*通訳つき(聴講無料)

千葉市美術館へ電話で申し込み先着150名

◎コンサート:7月26日(土)午後2時より

場所:千葉市美術館1階さや堂ホール

出演:小柳美奈子(ピアノ)/神谷百子(マリンバ)

\*無料(展覧会の入場券が必要)

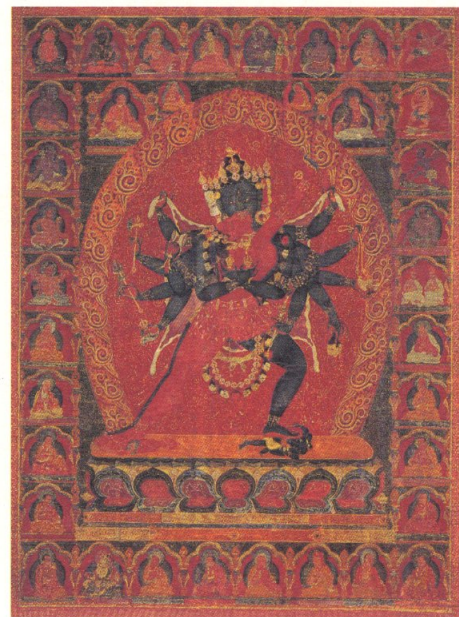
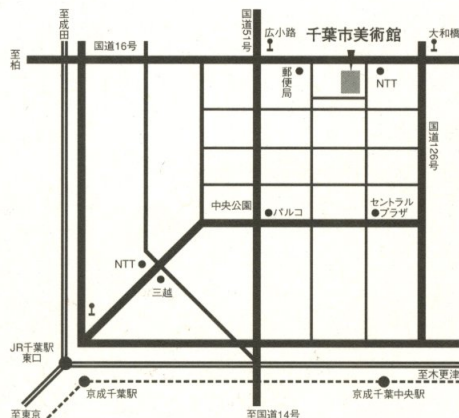
申し込みの詳細は美術館までお問い合わせください。

◎次回予告

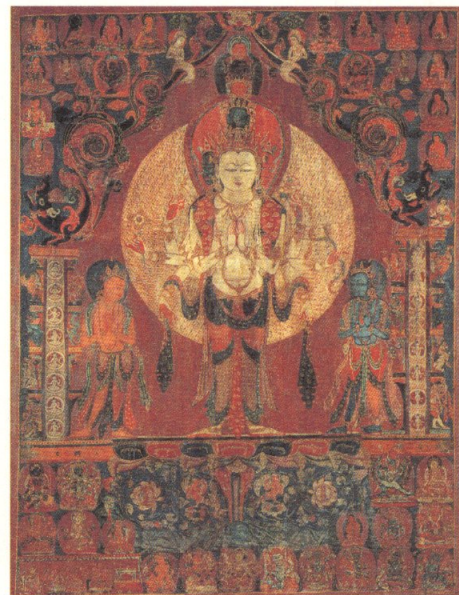
日本の版画 I・1900-1910・版のかたち百相 9月9日→10月12日

関係一河口龍夫 9月9日→10月19日

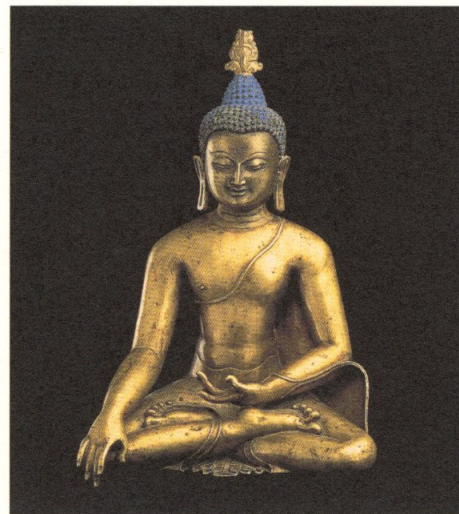
[交通案内]JR総武線千葉駅東口より徒歩15分/JR総武線千葉駅東口のりばより京成バス 大学病院行「大和橋」下車、矢作台市営住宅・川戸行「広小路」下車のりばより無料巡回シャトルバス「チーバス」[区役所・美術館前]下車(11時より18時の毎時05分と35分に出発、水曜運休)/京成千葉中央駅東口より徒歩10分



〈パラマスカ・チャクラサンヴァラ父母仏〉15世紀後期-16世紀前期、個人蔵



〈十一面千手観音〉15世紀後半-16世紀前半、個人蔵



〈釈迦牟尼仏像〉11世紀中期-12世紀、ツィンマーマン・ファミリー・コレクション